

令和4年度 指定管理者モニタリング年度評価シート [山形市野草園]

施設概要			
施設名(所在地)	山形市野草園 (山形市大字神尾832-3)		
施設目的	山形市市制施行100周年記念事業の一環として、自然とのふれあいを通して、植物を愛し育てることを啓発し、花と緑あふれる街づくりの精神を普及し、「自然と人間との共生」を図ることを目的とする施設。		
指定管理者(選定方法)	一般財団法人 山形市都市振興公社(選定方法:非公募)		
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日		
指定管理者が行う業務	1 施設及び設備の維持管理に関する業務 2 植物等の維持管理に関する業務 3 施設の運営に関する業務 4 自主事業の実施に関する業務 等		
利用料金制導入の有無	有		
施設所管課	まちづくり政策部公園緑地課		
評価区分	評価項目	評価ポイント	評価
管理運営の状況	人員配置	人員配置は過不足なく適切に行われたか	A
	有資格者の配置	必要な有資格者の配置は適切に行われたか	A
	資質向上	職員の資質向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	受付・接客	接客向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	平等利用	特定の利用者を有利または不利に扱うことなく、取り扱いが適切に行われたか	A
	利用者サービス向上	利用者サービス向上を図る取り組みは適切に行われたか	S
	広報	利用者への広報は情報提供として適切に行われたか	A
	備品・建物等の管理	備品・建物等の財産の管理は適切に行われたか	A
	安全対策	利用者の安全確保の取り組みは適切に行われたか	A
	危機管理	緊急時に備えての研修・訓練等は適切に行われたか	A
	事故・苦情の対応	事故・苦情に対する対応は適切に行われたか	A
利用の状況	開館日数	開館(日数)は適切に行われたか	A
	開館時間	開館(時間)は適切に行われたか	A
	利用人数	利用人数は目標を達成したか	B
事業実施の状況	実施回数	実施回数は目標を達成したか	S
	参加者数	参加者数は目標を達成したか	B
	事業内容	事業の内容は施設の設置目的にあう適切なものであったか	A
の満足度	利用者満足度の把握	アンケート等を実施して利用者満足度の把握は適切に行われたか	A
	利用者満足度向上	アンケート結果等により利用者満足度向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
維持管理の状況	清掃(日常)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	清掃(定期)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保守点検(日常)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保守点検(定期)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保安警備	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	修繕等維持管理	修繕等は適切に行われたか	A
収支の状況	利用料金	利用料金は目標を達成したか	A
	利用料金の収受	利用料金の収受は規定の料金を適正に収受するなど適切に行われたか	A
	利用料金の減免	減免の申請手続がなされた場合、処理は適切に行われたか	A
	経費の縮減	経費縮減についての取り組みは適切に行われたか	A
	収入の増加	収入増加についての取り組みは適切に行われたか	A

成果のあった主な取り組み

- ・「花の見どころマップ」を毎週更新し、来園者に旬な情報を伝えた。
- ・デジタルマップと植物検索システムを連動させて、スマートフォン等で目当ての植物を探せるようにした。
- ・自然学習の場として、植物ラベルを新たに約400枚設置した。
- ・「山形市健康ポイント事業SUKSK」と連携を図り、来園者に対して1回500ポイントを付与するサービスを継続実施した。
- ・ゴールデンウィークに向けてマスコミやフリーペーパー等、さまざまな媒体を利用したPR及びInstagram等のSNSによる開花情報等をリアルタイムに発信したことにより、入園者数の増加に繋がった。また、アサギマダラ祭りや山響・市役所ウインドアンサンブルのコンサートの実施により、年間入園者数が23,943人と対前年度207人の増となった。
- ・学芸員が中心となって作成した植物管理計画に基づき毎月の管理計画会議を開催し、植物及び施設の維持管理に努めた。
- ・ミヤマカスミザクラ後継木については、開花までに数年かかることから継続した管理を行った。
- ・環境省のレッドデータブックで絶滅危惧種に指定されているオキナグサ、クマガイソウ、オサバグサ等に関して、保護のための環境整備に取り組んだ。また植物育成状況の把握による繁殖最適地の選定等を継続して行った。
- ・山形市への転入者向けに無料優待券を配付し、令和4年度は72人が利用した。

主な課題や今後の対応

- ・今後も継続してクマ侵入防止対策を講じ、利用者が安心・安全に楽しめる施設を目指す。
- ・植物検索システムで検索できる植物を増やし、利用者の利便性を向上させる。
- ・野生の桜の基本種9種や、貴重なミヤマカスミザクラが見られる施設として、PRする。また、渡り蝶のアサギマダラが好む秋の七草フジバカマの植栽面積を拡大し、東北有数の飛来地・撮影スポットとして「アサギマダラ祭り」を開催しPRする。
- ・薬草として効能もある山野草が園内に多く生育しているため、「薬草コーナー」への薬草の集約を継続して行う。薬草の生育環境を整え、薬効等の説明を記載した写真付きのラベルを設置し、薬草についての関心と理解を深めてもらう。
- ・園内の見どころを1時間で回るコースに加え、散策する時間のない方や高齢者の方などが気軽に散策できるよう、30分で回れるコースを設定し、利用者ニーズに応じたサービスを提供する。
- ・季節ごとに魅力ある植物を選定するとともに群生化することで、いつ来ても野草が楽しめるように整備する。
- ・博物館相当施設として博物館実習を継続実施する。積極的に東北地区の大学に告知し、学芸員を目指す学生を受け入れる。
- ・四季折々のモデルコースを設定し、デジタルマップと連携することで、園内の周遊性を高める。
- ・ミヤマカスミザクラ後継木については、開花までに数年かかることから継続した管理を行っていく。
- ・修繕計画に基づき、老朽化した機械設備・施設の修繕を実施する。
- ・山形市への転入者向けの無料優待券配付を今後も継続し、利用人数の増加を図る。

評価コメント

評価項目をおおむね高い水準で達成しており、指定管理者としての役割を担っている。
山形市としては、一過性のイベントは、天候等の外的要因に左右される不確実なものであり、それだけに期待することには限界があるという認識に変わりはない。時代のニーズを的確に反映した業務展開を行うことで、年間を通じた施設の魅力をさらに高め、恒常的・安定的収入が確保できるさらなる環境整備を期待したい。
また、年間を通して「事業計画書」に基づき、特に「サービス水準向上のための具体的な取り組み」を常に念頭に置き業務を遂行していただきたい。
なお、新型コロナウイルス感染症が5類に引下げられたことにより、集客力をアップさせ、目標の入園者数を上回るように努めていただきたい。
今後も安心で安全な満足できる施設にしていきたい。